

## 水土里レポート 投稿様式

投稿月日	平成27年12月1日
タイトル	水土里の輪！八木用水ウォーキングへ参加して
水土里レポーター名	水土里ネット福山 佐々田 愛

平成27年11月14日（土）広島市の水土里ネット祇園町外二ヶ町の八木用水で開催されたウォーキングへ参加しました。

水土里ネット祇園町外二ヶ町は、平成26年8月20日に発生した広島市豪雨土砂災害で被災された地域になり特に「八木用水」は、取水施設や用水路等に甚大な被害が出たとお聞きしていました。

被災される前月の平成26年7月に、21世紀土地改良区創造運動の先進的な活動をお聞きするため視察し、水土里ネット同志の交流をしており、被災から一年、みごとに復興された八木用水でウォーキングを開催されるとお聞きし、喜んで参加させていただきました。

朝、JR可部線の大町駅に集合し、歩いて八木用水が安川を潜っているサイフォンと除塵機へ向かいました。除塵機を動かして見学する予定でしたが、除塵機とその手前の水路には土砂が多く堆積しており、折からの雨で取水が止められ水位が低いこともあって除塵機が作動しませんでした。



除塵機の説明を聞きました！



砂の流入が多いのがよく分かりました！

除塵機を出て、バスへ乗って上流の「鳴の取水口」へ向かいました。バスの中で、増原康昭理事長より「昨年の土砂災害で甚大な被害が出て、数年は用水を配水することはできないと言われていましたが、行政や中国電力、そして多くのボランティアの協力により本年度から取水配水することができました。皆様に感謝いたします。」と挨拶がありました。今年、作付けを見送った農家は3軒で、ほぼ復旧したようです。

バスの中では、用水路に流して競争させる折り紙を折りました。みんな試行錯誤しながら折っていました。

少し走ると、鳴の取水口に到着しました。ここは、太田川から取水しているところですが、土砂災害前はほとんど使われていなかったそうです。災害で中国電力(株)の水力発電所の水が供給できなくなり、鳴の取水口のポンプを1台から8台に増やし水の確保をしているそうです。



鳴の取水口から用水路を辿って中国電力㈱の発電所までウォーキングを始めました。用水路脇の管理道を歩きながら、数年前には体長50cmほどのオオサンショウウオがいたことなどお聞きしました。

途中、バスの中で折った折り紙を用水路に流しました。歩くスピードの方が速くスタッフの方が最後尾で折り紙が引っかけられないか見ていただきました。

中国電力㈱の発電所まで来ると、八木用水の石碑が仮置きしてありました。昨年7月に視察で拝見した時は、歴史を感じさせる趣で神社の脇に鎮座していたのですが、土石流に流され、あちこちに傷があり痛ましい姿になっていましたが「どこへいったか分からなくなっていたので、帰ってきただけありがたい」と増原理事長が言っておられました。



用水路のいたる所に土砂災害の爪痕がありました。復旧が進んでいるものの、雨が降ると用水路に土砂が流れ込み、対応に苦慮しておられるようでした。折しも当日は雨となり、ウォーキングには向かない天候でしたが、土砂流入を目の当りにすることができ、災害の恐ろしさを痛感しました。

中国電力㈱発電所へ着くと、発電所の見学と説明がありました。この発電所は太田川やその上流の河川の水を使った水力発電で、発電で利用した水を八木用水へ農業用水として分水していました。土砂災害では、発電所の貯水プールへ土石流が流れ込み、周辺が大きく崩落したため、復旧工事も難航したそうです。平成27年10月に発電と分水が復旧したそうですが、まだまだ、工事の足場があり完全な復旧まで時間がかかるようでした。



発電のしくみや送電の説明を聞きました！



見上げるような大きな発電施設にびっくり！

ここで休憩となり、みなでお弁当を食べながら地域に住むボランティアの方のお話をお聞きしました。太田川周辺では、この時期河口からカニが上ってきて、今でも少しカニを見ることができると、お話していただきました。休憩が終わるとさらに下流へウォーキングです。



ここからは、市街地の中を用水路が通っていて、用水路のほとりに子ども達が描いた絵が掲示してありました。発電所からすぐの用水路の出口では、折からの雨で取水制限され、ほとんど水が流れていませんでしたが、下流にいくにつれ、脇から流れ込む水でどんどん水位が上がっていました。また、土砂災害被災地の近くからは、泥水が流入していました。現在、砂防ダムを建設中で完成すれば土砂の流入も少なくなる見込みだそうです。



用水路の脇には子ども達の絵が掲示！



用水路に泥水が流入！

暫く市街地をウォーキングして樋門へ着きました。この樋門は用水路が雨で増水した時、地域の浸水を防ぐため樋門を開けて太田川へ排水するものです。樋門を開けると下流からも逆流して、勢いよく排水されました。排水されると水路へ堆積した土砂が露わになり、土砂が流れ込んでいることが分かりました。



徐々に樋門が上がる様子を興味深く見学！



写真右上の下流から逆流して排水されます！

ここから先もウォーキングする予定だったのですが、雷が鳴るほどの大雨となり解散となりました。帰りには広島菜の漬物とパンをお土産にいただきました。とってもおいしかったです。

今回の八木用水ウォーキングに参加して、甚大な被害に遭われたにもかかわらず、翌年には復旧し通水を果たされた水土里ネット祇園町外二ヶ町の役職員の皆様の熱意とご努力に接し、頭の下がる思いです。

水土里ネット福山でも、今回の体験を今後の活動の参考とし、21世紀土地改良区創造運動により一層取り組んでいきたいと思ひます。